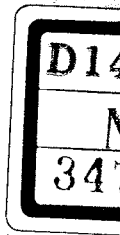


若松港修築計畫概要

內務省下關土木出張所



目次

(一)	緒言	一頁
(二)	計畫ノ大要	二
(三)	工費	三

登録	昭和63年4月7日
番号	第34755号
社団法人	土木学会
附属	土木図書館

若松港修築計畫概要

(昭和八年十月)

緒言

本港ハ北九州洞海湾口ノ北岸ヲ占メ、對岸一衣帶水ノ戸畑港ト共ニ本灣ノ咽喉ヲ扼シ、北方ヲ僅ニ日本海ニ開蔽スルノミニシテ港内四時波靜ナル天然ノ良灣ナリ、加フルニ明治二十二年以來若松築港株式會社ノ起業ニヨリテ、港外ニ防波堤ヲ築造シ且ツ航路乃至港内ヲ浚渫スルニ及ヒテ、港灣機能噸ニ増進シ夙ニ筑豊炭移出港トシテ著名ナリキ。

然ルニ近時北九州商工業ノ異常ナル發達ハ、本港ノ貿易ヲ促進シ一般貨物ノ吞吐亦急激ニ増加シ、最近ニ於ケル本港一ケ年ノ出入貨物總量約六百貳拾五萬噸、内一般貨物量五拾五萬噸ニ達スルニ至リタルモ、是カ荷役設備トシテハ唯若松驛操車場東北端

ニ水深六米、延長二百七拾二米ノ市營埠頭ヲ有スルニ過キサレニヨリ、茲ニ本計畫ヲ起コシ發展途上ノ港勢ニ順應スヘク接岸繫船設備ヲ擴築セントス。

計畫ノ大要

本工事ハ若松市ノ事業ヲ明治三十年法律第三十七號ニ基キ、内務大臣ニ於テ直接施行スルモノニシテ、其ノ計畫ノ大要左ノ如シ。

- 一 岸壁 若松市營埠頭ノ南端ニ接續シテ水深七米五、延長二百七十米ノ繫船岸壁ヲ築造シ、三千噸級汽船二隻ヲ同時ニ繫留セシム。
- 二 護岸 前記岸壁ノ側面ニ延長百九米、岬ノ山突端北方埋立地外側ニ延長三百一十米、合計四百二十米ノ護岸ヲ築造ス。
- 三 浚渫及埋立 新設岸壁前面及其ノ附近ノ海面ヲ水深干潮面以下七米五ニ浚渫シ、其ノ土砂ヲ以テ市營埠頭南方ニ於テ面積一萬平方米ヲ埋立テ、上屋、倉庫及陸上

設備用地ニ充テ、又岬ノ山突端北方ニ於テ約八千平方米ヲ埋立テ鐵道敷地ニ供ス。

四 陸上設備 軌道ノ敷設、停車場構内ノ荷役設備及小建築物ヲ築造ス。

工費

本工事ハ總工費百貳拾萬圓（内國庫補助四拾壹萬六千圓）ヲ以テ、昭和七年度以降同拾四年度ニ至ル八ケ年ノ繼續事業トシテ施行スルモノニシテ、工費年割額ハ左ノ如シ。

年 度	工 費	内 譯	
		國 庫 補 助	地 方 貢 擔
昭 和 七 年 度	100,000 円	50,000 円	50,000 円
同 八 年 度	150,000 円	50,000 円	100,000 円
同 九 年 度	150,000 円	50,000 円	100,000 円
同 十 年 度	150,000 円	50,000 円	100,000 円

同 計	同 十 四 年 度	同 十 三 年 度	同 十 二 年 度	同 十 一 年 度
1,100,000	1,500,000	1,500,000	1,000,000	1,000,000
400,000	600,000	600,000	500,000	500,000
600,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

昭和八年十月

内務省下關土木出張所

東京市京橋區築地三丁目十番地

印刷人 古橋 照太郎

東京市京橋區築地三丁目十番地

印刷所 東京築地活版製造所